

財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記については以下の表示による。

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は取得原価基準であり、評価方法は最終仕入原価法で行っている。

(2) 固定資産の減価償却について

有形固定資産及び無形固定資産は、定額法により減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	17,797,417	1,807,500	0	19,604,917
減価償却引当資産	48,368,219	3,735,906	0	52,104,125
国際ペン活動基金資産	15,571,585	0	3,450,000	12,121,585
ペン憲章啓発活動基金資産	26,855,330	0	3,350,000	23,505,330
文芸振興活動基金資産	18,246,000	0	0	18,246,000
合 計	126,838,551	5,543,406	6,800,000	125,581,957

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	19,604,917	(0)	(19,604,917)	(19,604,917)
減価償却引当資産	52,104,125	(0)	(52,104,125)	(52,104,125)
国際ペン活動基金資産	12,121,585	(0)	(12,121,585)	(12,121,585)
ペン憲章啓発活動基金資産	23,505,330	(0)	(23,505,330)	(23,505,330)
文芸振興活動基金資産	18,246,000	(0)	(18,246,000)	(18,246,000)
合 計	125,581,957	(0)	(105,977,040)	(19,604,917)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	85,065,369	21,436,469	63,628,900
建物附属設備	26,787,793	20,824,293	5,963,500
構築物	1,752,838	1,056,956	695,882
什器備品	10,246,014	8,568,162	1,677,852
ソフトウェア	727,488	218,245	509,243
合 計	124,579,502	52,104,125	72,475,377

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
助成金						
助成金	独立行政法人 国際交流基金	0	705,000	705,000	0	流動資産
子どもゆめ基金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	0	759,105	759,105	0	流動資産
負担金						
地元負担金	第32回「平和の日」 延岡の集い 実行委員会	0	2,500,000	2,500,000	0	流動資産
合 計		0	3,964,105	3,964,105	0	